

被爆者の想いを次世代へ継承しなければ

ピースツアー・ピースアクション報告

パルコープでは毎年、「平和の大切さ」「被ばく体験を風化させず、次世代へ伝える」ためピースツアーを行なっています。今年も、被爆地ヒロシマを訪れ、原爆のつめあとや平和資料館を見学し、平和の式典に参加しました。

ヒロシマツアー

8月4日～6日 20名参加



大久野島で「毒ガス貯蔵庫跡」の見学

「原爆のつめあとめぐり」では、広島各地の現存する遺産について、ガイドさんの話を聞きながら学ぶことができ、やはり広島に来たからこそ体験できる貴重なものだと感じた。「資料館」は以前のような原爆の恐ろしさを視覚的に訴えるむごたらしさがなりを潜めていて、近代的できれいな資料館になっていたことは残念だったが、一部の展示スペースでの焦げた弁当や亡くなった子どもの衣服といったものは、そのエピソードと共にもの凄く心に迫るものがあり、パネルや端々とした文章ではなく、そういうものに価値があるように思った。13、4年振りに参加させて頂いたが、十数年が経ち、人の死と向かい合い、戦争の悲惨さや親のありがたみなどを感じつつある中で、原爆の下で死の世界での親子の最期のつながりや、失くした子の遺品を誰にも語らず仏だんにしまい続ける親心、死を強いられた子ども達と生き地獄を見る子ども達の哀しさなど、もの凄く心打たれるものがあった。

(大東市 近藤さん)



広島での日生協主催「ピースアクション」に今年もパルコープから組合員活動委員会メンバー9名が参加しました。



▲日生協連主催「虹のひろば」でパルコープの組合員による平和活動を紹介

▶基町高校の生徒が作成した原爆の絵のひとつ



見学で一番印象に残ったのは、基町高等学校創造表現コースの生徒と被爆体験証言者が10年前から共同で制作した原爆の絵の展示です。戦争を知らない子ども達が被爆者の話をもとに絵にするのは大変な作業だったそうです。写真よりもリアルで原爆の怖ろしさが伝わって来ました。被爆者の方たちは被爆者の想いを次世代へ継承しなければという気持ちで高校生に詳しく細かく当時の様子を話されたのだと思います。

(枚方中央地域活動委員会 奥村さん)

ヒバクシャ国際署名にご協力を！～核兵器廃絶を心から求めます～

核兵器廃絶に反する水爆実験を北朝鮮が9月3日に行い、世界中が不安を感じ、9月12日国連安保理事会で制裁決議が採択されました。

しかし、最も効果があるのは、核兵器自体を禁止する国際的な取り決めの「核兵器禁止条約」の発効です。7月7日に国連で採択され、9月20日から、国連で各国の署名が始まり、50カ国が署名した時点で発効されます。

現在世界中で、とりくんでいる、ヒバクシャ国際署名に多くの方の賛同があれば、大きな力になりますので是非ご協力をお願いします。



京橋事務所にもらった署名タワー

ご協力ありがとうございます
32,071筆 (9月12日現在)



NO.92

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

今夏も東京の大学生36名が復興ボランティアにやって来てくれました。NPO遠野山里ネット・現地スタッフのコーディネートのもと、関西3生協もお手伝いさせてもらった畑・花壇整備や住民交流などに向かってくれました。その中で、大槌町では町の助成「心の復興事業」を活かし「うまいもの交流会」(メニュー:たこ焼き、汁物、おにぎり)を災害公営住宅で2回行ってもらいました。学生と住民が一緒に作って、食べて、おしゃべりするという企画でした。

この助成事業は、大槌町内で活動する町内外の18団体が採択され、震災復興の様々な事業を進めておられます。町民主体の団体では、例えば「海とのふれあいの場を取り戻すこと」を目的として、砂の芸術祭や海岸映画会を行い、被災者の交流の場を生み、海の賑わい再生に…。別団体では「薪が紡ぐ生きがい・人・街づくり」を目的に、林業による生きがいづくり、子ども対象の森林教室、地域集落の里山整備などに…。また「仮設・災害公営住宅等の引きこもり、アルコール依存症等の支援」を目的に、農園事業やものづくりを通じて心のケアに取り組んでおられる団体もあります。

このように大槌町では、まだ住宅・街並み、産業復興は途上ですが、住民自身が地域の宝を活かした復興に向けて一層頑張れるよう、行政が仕組みとして団体間の横連携を含めた継続したサポートを期待したいです。

(岩手県遠野市に常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
10月1日(日)10:00～15:00	つるみ店
10月8日(日)10:00～16:00	大阪ちんでんバル(住吉公園)
10月22日(日)10:00～15:00	あさひ福祉まつり
10月22日(日)12:00～16:00	此花区民まつり

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎忍ヶ丘店(9月3日) 売上げ61,400円と募金1,587円

東日本大震災復興支援【酒の座in大阪】

～地域の力、日本本来の力とは何か…東北復興の地から考える～
被災地の応援のため、宮城・福島・岩手の地酒の紹介や記念講演(浜矩子氏)、シンポジウムが行われます。
東北の地酒の試飲会もあります。

日時 10月20日(金) 11時～19時
21日(土) 10時～16時

会場 大阪ガス本社ビル(大阪市中央区平野町4-1-2)

参加費 当日2,500円、前売り2,300円

主催・問い合わせ先:一般社団法人 日本社会連帯機構
☎03-6907-8051

※東北応援に関する情報はホームページでも見るができます。<http://www.palcoop.or.jp/shinsai/higasinihon/>
※パルコープの店舗一覧はこちら。<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

パル・よどがわ・なら
組合員さんの

2017年度 第3回 東北応援バス報告

8月5日～8月8日



けんか七夕の山車飾りを作りました

2日目けんか七夕祭り、町の人々が集り、地方へ出た人々が帰ってくる。立教大の学生達が、和光太鼓の方々が太鼓を通して集り、各地方から沢山のボランティアが、その家族も集まり、そして先祖、震災で亡くなられた方々の魂が帰ってくるという。人が人を呼んで集まり繋がって続いて…絆がでるのだなど、私もそこへ参加させてもらったことに感動しました。600年も続く伝統行事がこれからも続くことを願っています。

(大東市 S・Aさん)

6年前テレビで見た時と自分の目で直接見たのではまったく違う、というのが第一印象でした。見渡せば山盛りになっている土があり、雑草が生えている所には誰かが住んでいたのだと思わせられました。東日本が起きる前は私たちと同じ様に学校や会社に行ったりして普通に生活していたんだなと思うと一刻も早く住んでいたい人が戻って来れるまで復興してほしいと思いました。

実際に現地へ来て沢山の事を学びました。
学校の先生方に私の感じたり思ったりした事を話したいと思います。

(大東市 S・Hさん 16歳)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2017年3月21日～2017年8月20日)
19,034,717円 (この金額には2016年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)

パルコープで取り組んだ「九州北部災害募金」にご協力ありがとうございました

組合員のみなさまからお寄せいただいた「九州北部災害募金」は、1,677名に協力いただき、8,182,700円集まりました。日本生協連を通じて各市町村の被災された皆様への義援金及び被災地支援金としてお届けします。



←「ヒバクシャ国際署名」はパルコープホームページの専用フォームからでもできます。